

会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市あじさい大学運営委員会(令和元年度第2回)				
事務局 (担当課)		健康福祉局保険高齢部 地域包括ケア推進課 電話 042-769-9231(直通)				
開催日時		令和2年1月27日(月)10:00~11:40				
開催場所		相模原市民会館 第2中会議室				
出席者	委員	12名(別紙のとおり)				
	その他	3名(相模原市シルバー人材センター)				
	事務局	6名(保険高齢部長、地域包括ケア推進課長、他4名)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	なし
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 あいさつ 2 議題 (1) あじさい大学の見直しについて (2) 令和2年度事業計画(案)について (3) 学生募集の周知方法(案)について (4) その他				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員長の発言、 は委員の発言、 は事務局の発言)

1 開会

2 あいさつ

小林委員長あいさつ

保険高齢部長あいさつ

3 議題

次第に沿って、小林委員長の進行により議事が進められた。

(1) あじさい大学の見直しについて

あじさい大学見直し検討部会におけるあじさい大学見直しにかかる検討状況について、同部会員である川上委員から報告がなされた。

【主な質疑】

受講者の平均年齢は何歳か。

本年度受講者の平均年齢は、全体で72.2歳である。

団塊世代が65歳超えをしたのは平成22年度あたり。講座内容を、もう少し受講者の平均年齢などを加味した視点で再検討すべきだったのではないかと思うが。

視点としては、講座内容を充実する、わかりやすいものにする、更には高度なものもやってはどうかという意見があった。

10年違うと、ものの見方や考え方、行動の仕方など変わってくる。社会的にすごい改革をされた団塊世代が中心になって受講されているのが現状であれば、当時やりたくてもできなかったギター講座や、今、流行りの終活などもいいと思う。

あじさい大学が始まった頃と今とでは時代がずれている。今盛んなカルチャーセンターに流れてしまっているものを、もう一回引き込むためにはどうしたらいいのか、検討部会で議論したが、具体案は出なかった。

「高齢者」という言葉で高齢者をひとくくりとしている気がしないでもない。

60歳と80歳では価値観も考え方も違う。これから検討することになると思う。

“超”高齢の方や障害をお持ちの方なども含め、みんなが参加できるという視点についても、検討部会では意見が出ていた。

気持ちは元気なのだが、年齢は「高齢者」。何かにつけ、「高齢者」「高齢者」と言われて嫌だ。言葉をもう少し考えてもらえたらと思うことがある。

「高齢者」も60歳からという定義もあれば、介護保険が65歳から、後期高齢者医療などは75歳からとなっている。市長は、シニア世代という言葉を使っている。

戦後生まれの人と戦前生まれの人とでは考え方が全然違う。老人クラブもそうなのだが、若い人に入会してもらうために、どのようなことをしなければならないかを模索中

であり、検討部会の議論を参考としている。

公開講座の「どう生きる！ピンコロ人生」「ピンピンコロリの生活術～痛みのない快適な老後」などのテーマが面白い。そこから湧くイメージが自分でも何かできるのではという欲が出てくると思った。他はテーマが硬すぎる気がする。

先ほど意見もあったが、ひとくくりにせず、団塊世代など年齢にあった内容を実施するということになる。

魅力あるキャッチフレーズを工夫する。

コマーシャルでも頭に残るのは面白いもの。

部会でも、ジェネレーションギャップが起きているという話は出ている。年齢によって違う。具体的にどういう科目を増やすなどの話は出なかった。それはすごく難しいことだと思う。昔、我々の世代は、会社の課内旅行にみんなでワーズと行ったが、若い人は行かなくなった。これも似た現象かと思う。ただ講座を変えれば済むのかということ、意外とそうでもないかもしれない。今後の課題で検討していかなければと思っている。

意見はほぼ出尽くしたということによろしいか。委員会の報告については、本日いただいた意見を踏まえ、正副委員長に一任いただくということによろしいか。

よろしい。

それでは、正副委員長に一任いただく。

(2) 令和元年度あじさい大学の概要について 及び(3) 令和元年度あじさい大学事業計画について

事務局から資料に基づき一括して説明を行い、了承された。

【主な質疑】

健康1及び歴史6は、主な会場以外にもやるということだが、屋外に出るのか。

通常の会場が確保できなかった関係と、夏場に空調が効かないところを空調の効く会場に変えたものである。屋外ではない。

講師のプロフィール紹介など薄いところがあったが、今回、プロフィール写真が入った。また、あじさい大学をこのまま運営して大丈夫なのかというピンチも感じていたところだが、いろいろと話し合いをされ、うれしく思っている。

あじさい大学講師陣が交流できるといいと思う。例えば、健康体操では、受講者の体力差が大きく、講師陣も、世代ギャップなど、どうやって運営したらいいのかと考えることもあると思う。

講師陣の交流の場面を持てたらということか。

そのとおりである。

交流の中から世代ギャップの問題などへの対処法が出てくるのではないかとということか。

そのとおりである。健康クラスの1から9まで、それぞれどのようなことをやっているのか住み分けをして伝えられるといいと思う。

現状では、講師同士の交流の場はない。情報交換できれば、同じ学科の差別化というか、充実も図れるかもしれないので、視野に入れて検討できたらと思う。

健康 1 から健康 9 までであるが、これで内容がわかるのか。自分はどれが適しているのかわからないのではないか。

募集案内に学科紹介を付け、限られたスペースであるが、詳しく掲載する予定である。また、ホームページも学科の写真を掲載するなど内容がわかるように工夫したい。例えば健康 1 の場合、定員 50 人を講師ひとりで大丈夫なのか。

アシスタントがふたり付く。

アシスタントが付いていることを案内に記載した方が親切だと思う。

講師同士の交流がゼロと言ってもいい状態である。部門ごとで話し合えればと思う。

そのような意見について、対応可能なのか。

講師のみなさんに集ってもらうのはかなり厳しい。メールなどを工夫して意見交換的なところをアンケートで行うことは検討したい。

来年度のあじさい大学入学式では、健康科の講師 4 名により、学科紹介を分担する時間が設けられており、その前後で話し合う時間がとれるが、いつもの入学式では、講師が話し合うということはない。事務局が声をかければ、興味ある講師は話し合う時間を取ってくれるのではと思う。

検討する。

あじさい大学の趣旨のひとつに仲間づくりがある。仲間として自分の同世代で集まりたいと思うので、昨年の実績として 60 代何人、70 代何人、80 代以上が何人とか、応募をそそる要素として学科一覧に加えられればと思う。難しいと思うが、そのような工夫があればいいと思う。

検討したい。

広報さがみはら 3 月 15 日号の枠は非常に制限されているのではないか。

年々小さくなっている。広報の今のスタイルで、詳しい情報はホームページやチラシでとなっており、会場も載せられない。

あじさい大学に限らず、周知に関しては、広報の事情があり、各方面で苦しんでいる状況である。

周知方法で新たに加わったものは何かあるのか。

資料 5-2 最下段「募集案内書の充実」の「科目案内へ講師の写真・プロフィールの掲載」である。

合わせてホームページも少し写真などで充実したいと思っている。

ホームページをパソコンや携帯から見る機会が増えているので、ホームページの充実を。また、フェイスブックなど SNS の発信でも案外見ている方が増えているので、あじさい大学でもやってみてはどうか。

これから高齢になっていく方については、そのようなこともあると思う。研究、検討させてもらいたい。

地域情報誌には載せられないか。

今は載せていない。

結構見ている方が大勢いる。

方法として検討する。

地域情報誌は地域限定の部分を広報するものであって、全市的なものについては広報というのが原則ではないかと思う。だから地域情報誌にあじさい大学を載せようとするのは難しいのではないか。

タウンニュース等への働きかけも検討したい。

(4) その他

事務局から、次の4点について報告等があった。

- ア あじさい大学での日本画講座開設の要望書及びフラダンスの要望について
- イ 令和2年4月の組織改正に伴うあじさい大学所管課の変更について
- ウ 第51回ゆめクラブ相模原作品展の案内
- エ あじさい大学学生交流発表会、同作品展の案内

閉会

次回委員会は、令和2年4月以降に調整することとした。

あじさい大学運営委員会出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	小林 政美	社会教育委員会議 委員	委員長	出席
2	安藤 正義	老人クラブ連合会会長	副委員長	出席
3	大久保 祐次	社会福祉協議会理事		出席
4	高橋 美登利	老人クラブ連合会副会長		出席
5	八木 鉄雄	民生委員児童委員協議会常任理事		出席
6	堤 道子	民生委員児童委員協議会常任理事		出席
7	高井 登志子	公民館連絡協議会副会長		出席
8	八木 朋子	学識経験者		欠席
9	池田 直道	市文化協会 会長		出席
10	川上 宏	市体育協会 常務理事		出席
11	平岡 亮一	講師代表（健康1）		出席
12	大沼 ケイ	講師代表（健康8）		欠席
13	佐々木 務	学生代表（PC1）		出席
14	三浦 興己	学生代表（園芸1）		出席